

# 協働の まちづくり

## ニュース

Vol.2  
2007.7.1 発行



### 地域に根ざした協働を目指して

創設2年目を迎えた日向市市民まちづくり支援事業や、合併を機に創設された東郷町地域自治区振興基金事業などを活用した、活気あふれる市民活動事業が続々と実施されています。

今後は、祭りやイベントだけではなく、防犯・美化・文化事業などの様々な分野においても、地域に密着した協働事業が展開されていくことでしょう。

### ◎特集／市民活動団体インタビュー＆座談会

ボランティアで日向を元気に!! 日向ひよつとこ夏祭り実行委員会

### ◎市民まちづくり支援事業

○平成18年度実績報告 ○平成19年度上半期審査結果公表

### ◎協働へのアプローチ

時代が求める『協働』という新たな地方自治の型  
全国に広がる『協働』の波（協働先進地紹介）

# ～ 市民から吹く協働の風 ～

# ボランティアで日向を元気に!!

『平成18年度日向市市民まちづくり支援事業』で採択された全25事業中最多の約6万人の参加者・観客を記録した『2006第23回日向ひよっとこ夏祭り』。市内、県内はもちろん、県外からも多くの参加者を集める一大イベントを支えている市民活動団体が、『日向ひよっとこ夏祭り実行委員会』です。組織体制、運営状況など、様々な面で高い評価を受けている当団体の『2007第24回日向ひよっとこ夏祭り・第1回実行委員会』が、5月12日に開催されました。

そこで、7月号の特集は、第1回実行委員会終了後の懇親会の会場で行った“突撃&密着・三役インタビュー”をお伝えします。



▲突然のインタビューにも快く応じていただいた長谷川実利委員長（左）、安田宗信副委員長（右上）、岡田基継副委員長（右下）。総会後の懇親会の会場で、和やかな雰囲気の中、実行委員会の歩みから将来への展望に至るまで、三役としてだけではなく、一日向市民としての“本音”を伺いました。

今年のキャッチフレーズは『一笑一会！みんなで踊ろや！』

市民協働課 キャッチフレーズも決まり、いよいよひよっとこの夏が近づいて来ました。今年で24回を迎えるひよっとこ夏祭りですが、まず、その歴史について教えてください。

岡田 青年会議所の提言で、初代実行委員長の高木亮輔さんを中心に昭和59年にスタートしました。その後、場所や内容を再考しながら、行政主導の形から民間主体の活動へと発展させ、第19回からは長谷川委員長を中心とした現在の体制で活動しています。

市民協働課 現在の実行委員会についてですが、メンバーの人数、年齢層、職種などについてお聞かせください。

安田 現在、役員を含めおよそ70名の実行委員ががんばってくれています。今年から新たに参加してくださる方もいらつしやいますので、合計で80名程度になりますね。年齢層は、20代の若者から80歳を超える方まで、本当に幅広い世代の方が活動しています。職種も様々で、人材交流や人材育成の意味でも、貴重な経験を積める市民活動団体だと思っています。

## ひよっとこ踊りの普及と青少年育成を目指して

市民協働課 次に、組織構成とそれぞれの活動内容について教えてください。



▲第1回実行委員会風景。いよいよ本格始動です！

長谷川 実行委員会には、本会と事務局のほかに、総務部会、前夜祭部会、パレード部会、グッズ・ホームページ部会、講習部会の5つの部会で構成される専門部会があります。総務部会は、財務・案内・接待・物産などについて活動しています。前夜祭部会は、前夜祭の企画・運営を行います。パレード部会は、祭り当日のパレードの企画から式典・表彰に至るまで取り切ります。グッズ・ホームページ部会は、グッズに関する財務、グッズのデザインの検討や開発・制作・販売、ホームページの管理、祭り自体の広報宣伝などを担当しています。講習部会は、橘ひよっとこ踊り保存会の方に講師をお願いし、市内の小学生を対象としたひよっとこ踊り普及事業の実施、宿泊を伴った講習会、初心者向けの講習会開催などを行っています。ひよっとこ踊り普及事業では、『お面作り教室』も同時に行っているのですが、

お面作りのプロの指導のもと、子どもたちは世界にひとつしかないオリジナルのお面を作製し、それを着けて祭りに参加してもらっています。これらの事業を通して、ひよっこ踊りの普及はもちろんですが、様々な経験を通じて青少年健全育成に寄与することができればと考えています。

**グッズ販売は祭りの土台  
委員の努力が祭りを支える**

**市民協働課** ひよっこ夏祭りは8月第1金曜日・土曜日に開催されていますが、祭り当日に向けて、どのくらい前から準備を始めるのでしょうか。

**長谷川** 祭りの終了と同時に、次年度へ向けた準備をスタートしたいという気持ちですが、実際は、祭り終了後に総括を行い、改善点や新規事業についての検討を行います。それらを踏まえた上で、11月から始動するわけですが、まずは、グッズ・ホームページ部会を中心として、次年度の祭りに向けて販売するTシャツのデザイン公募の準備から取り組んでいます。

**市民協働課** グッズ販売と関連することですが、資金面についてお聞きします。祭り開催には相当の予算が必要だと思いますが、その財源はどのように確保しているのでしょうか。

**長谷川** 昨年度の収入は、1300万円ほどでした。大まかな内訳は、補助金、協賛金・募金、グッズ等の販売収入がそれぞれ3分の1ずつです。募金については、牛乳パックを利用したものを委員たちで作製し、それを市内のお店に置かせてもらっています。昨年度の収入において、特出すべきは、グッズ販売の大幅な増益です。主要収



▲ひよっこ踊り普及事業のひとつ。小学生対象の講習会など、幅広い普及活動を行っています。

入の中では最も大きい伸び率を記録しました。

**市民協働課** それでは、そのひよっこグッズについてくわしくお聞かせください。

**安田** 昨年度は、カレンダー、タオル、Tシャツを販売しましたが、やはり一番人気はTシャツでした。一昨年からデザイン公募も始まり、全国から応募をいただいています。昨年度は、150を超える応募作品が集まり、一番遠い所はハワイから応募していただきました。現在のグッズ事業の柱だと考えています。

**長谷川** グッズ販売は、祭り自体を支える土台とも言えます。グッズは、実行委員自身がロコミや手売りで販売しています。自分の努力がひよっこ祭りに貢献しているという喜びを感じながらがんばっています。

**岡田** 今後も、発展の可能性を感じることが出来る事業ですね。これまでも、販売経路の検討や新規事業を繰り

返すことで発展して来ましたが、ネット販売等の活用や、Tシャツの種類を増やしていくことによって、今以上に発展していけると考えています。

**みんなで課題解決に挑む  
強い結束力と深い絆**

**市民協働課** 実行委員の皆さんは、無償ボランティアで活動されているとお聞きしていますが、委員の皆さんががんばる源はどこにあると思いますか。

**長谷川** やはり一番は、日向市が元気であって欲しい。日向市民が笑っていて欲しい。という気持ち、その一言に尽きると思います。日向を離れて生活した経験のある委員は、特に地元への愛情が強いように感じますね。

**安田** 郷土愛、友達との絆、祭りが大好きなど、それぞれの思いはあると思いますが、最終的にはやっつけていくからではないでしょうか。そして、その根底には、日向が大好きでもっと日向を良くしたいという願いがあると思います。

**市民協働課** 実行委員の皆さんは、名実ともに実行力、機動力があり、全員で取り組んでいるという印象を受けますが、役員の方々は実行委員の皆さんをどう評価されていますか。

**長谷川** 日向市を盛り上げるために、全員が、仲間、としてがんばっていると思います。私に委員長が務まるのは、このメンバーがいるからです。メンバーはそれぞれが自分の意見をしっかりと持ち、意見を出し合い、戦わせ、決定後は懸命に取り組んでいます。また、若い力も積極的に意見を出してくれれます。もちろん、すべての意見を採用することはできませんし、そ

ういう時は「できないものはできない。」と、はっきりと伝えますが、本人が納得できるように噛み砕いた表現で伝えるようにしています。そのようなケースではない限り、多少の課題を含んだ意見については、「課題をみんなで解決し、全員の力でその意見を形にしていこう。」という手法で検討していきます。そういった過程で培われた結束力は、同じ実行委員の私から見ても素晴らしいと思います。

**岡田** 私は、委員の「聞く姿勢」も実行委員会の誇れる部分だと思います。それらの積み重ねが各部会の結束を生み、実行委員会の団結を強くしていると思います。

**安田** 私は、とにかくメンバーの深い絆を感じます。わずか2日間の祭りのために9ヶ月前から実行委員会を立ち上げ、企画を練り、準備を進めていきます。立場も考え方も様々なメンバーが意見を出し合い、協力し合って祭り本番を迎えることになるわけです。



▲牛乳パックを利用して作る募金箱。毎年、多額の募金が寄せられています。

## 新たな環境の中で 新しいことにもチャレンジ

**市民協働課** 今後の更なる発展のために考えている新規事業や拡大事業などがありましたら教えてください。

**長谷川** 考えられる事業はたくさんありますが、例えば、祭りは夏休み期間中ですから、その前後に、グリーンツーリズム、エコツアーなどのイベントを開催し、今よりも日向に長く滞在してもらえようになれば、新たな展開も見えてくるのではないかと考えています。東郷町と合併したのでですから、東郷地域の『森林文化』を活用しない手はないと思います。

**岡田** 日向市駅鉄道高架事業を有効活用することも不可欠だと思います。これまで分断されていた市街地の東西の境がなくなることで、10号線から市立図書館前の通りまでを、ひとつの連



▲第2回実行委員会では、Tシャツデザインも発表されました。

続した空間として祭りの会場に利用できるようになりそうです。これからは、それらの利点を最大限に活用していく必要がありますね。通行可能な高架下をうまく活用できれば、パレードを今以上に盛り上げることもできると思っています。

## 市民と行政との協働により 日向市を全国発信

**市民協働課** 本市の新総合計画が策定され、「市民と行政との協働」が大きな柱となつていますが、日向ひよっとこ夏祭り実行委員会は、それを既に実践されているモデルケースではないかと思えます。これからの協働のまちづくりについて、どうお考えですか。

**安田** 祭りが近づくくと市内のあちらこちらで、ひよっとこ夏祭りのTシャツを着た人を見かけます。市役所でも、ほとんどの職員の皆さんが着てくれ

第24回 日向  
**ひよっとこ夏祭り**  
2007年 8.4 (土)  
一笑一会! みんなで踊ろや! 2007ひよっとこ  
**喜 楽 踊 笑**

8月3日(金)前夜祭	
会場:日向市役所前広場(午後6時~午後9時) ●バスツアー(申込) ●ひよっとこ車庫(3時~18時) ●土庫(その他要がかかります) (申込)	
8月4日(土)夏祭り	
会場:日向市役所前広場・中心市街地	
<p><b>お楽しみ抽選会</b></p> <p>抽選品:日向市産の新鮮な野菜、お土産、お菓子、お花など</p> <p><b>お楽しみ抽選会</b></p> <p>抽選品:日向市産の新鮮な野菜、お土産、お菓子、お花など</p>	<p><b>お楽しみ抽選会</b></p> <p>抽選品:日向市産の新鮮な野菜、お土産、お菓子、お花など</p> <p><b>お楽しみ抽選会</b></p> <p>抽選品:日向市産の新鮮な野菜、お土産、お菓子、お花など</p>
<p>主催:日向ひよっとこ夏祭り実行委員会 (お問い合わせ) 日向市役所市民協働課市民協働課                  共催:日向市・日向市観光協会 TEL: (0982) 802111                  公式ホームページ <a href="http://www.hyottoko.jp/">http://www.hyottoko.jp/</a></p>	

オリジナルTシャツ  
大好評発売中!

ています。多くの方がこの祭りを支えていると実感するとともに、日向の素晴らしさを改めて感じます。私は行政に携わる人もひとりの市民だと思えます。現在、多くの市職員の皆さんもそれぞれの立場で実行委員会のメンバーとして参加していますが、「日向をより素晴らしいまちにしよう。」という思いを共有しながら、祭り本番に向けて楽しく準備を進めています。

**岡田** 市民は、仕事外、家庭外のおまかせな時間を利用して活動しています。同様に公務員も仕事外では一市民ですが、行政の立場として、市民との程よい協力が必要です。行政でしかできないこと、市民が得意とすることを考えて、お互いが「自分たちのまちは自分たちで創っていく。」という考え方で行動していければと思います。

**長谷川** 日向ひよっとこ夏祭りに関し、例えば、正に市民と行政との協働に

よって取り組むべきものだと思います。ひよっとこは、日向を発信できる貴重な観光資源です。市役所に『ひよっとこ課』というのがあって、ひよっとこのまちづくりを進めてもいろいろだと思っています。ひよっとこ夏祭りを単に2日間のイベントで終わらせるのではなく、先ほどお話ししたように祭り前後のイベントや親子での農業体験等を開催するのもおもしろいと思います。これからの観光は、名所旧跡めぐりなどの視覚的な観光よりも、体験型、感動型が主流になると思います。そのためにも、市民と行政との真の協働によって、日向市を全国に発信すべきではないでしょうか。

**市民協働課** 長い時間にわたり、突然のインタビューにお答えいただき、本当にありがとうございます。今年のひよっとこ夏祭りの成功と、これからのますますの発展を心からお祈りいたします。



今年で24回目を迎える日向ひよっこ夏祭りですが、昨年度からは『ひよっこ踊り個人戦』を実施するなど、進化を続けています。恒例のパレードや踊り子大賞、ダンスバトルなどのこれまでの催しと新たな事業の融合により、一層の発展を目指しています。

今回の取材を通して、これまで知ることのなかった実行委員会の活動内容まで理解することができました。率直な感想は、「活気あふれる、まとまったプロ集団」という印象でした。

市民・行政双方の視点から、その活動姿勢、運営実績を高く評価されている実行委員会ですが、委員の皆さんは、「評価してもらえないのはありがたいが、私たちはそれだけのためにがんばっているわけではないんです。」と言います。きっと、純粋に日向市を盛り上げるためにがんばっているのでしょう。

地方分権の時代を迎え、新しい地方自治の形として『協働』という言葉が注目されています。その言葉自体は認知度を上げていますが、では、実際には何を、どのようにやればいいのか……？ 分かりづらいのが現状です。

協働による、より良い日向市のまちづくりを実現するためには何が必要なのか。日向ひよっこ夏祭り実行委員会は、その答えの糸口を教えてくださいたいような気がします。

「市民から吹く協働の風」は、強くて熱い風でした。  
〔インタビューアース〕

日向ひよっこ夏祭り実行委員会組織図



PR 日向ひよっこ夏祭り実行委員会  
のメンバーを募集中です!!

日向ひよっこ夏祭り実行委員会では、新たに実行委員を募集しています。実行委員会の活動内容は、夏祭りまでの企画・立案や準備、祭り当日のスタッフ業務など様々な活動を行っています。

また、夏祭りだけでなく、地元小学生へのひよっこ踊り普及事業なども行っています。

実行委員に興味のある方は、日向ひよっこ夏祭り実行委員会事務局(日向市観光振興課内:Tel52-2111 内線 2653)までご連絡ください。



# 平成 18 年度 日向市市民まちづくり支援事業 実績一覧表

☆実績の詳細は、市ホームページ <http://www.city.hyuga.miyazaki.jp> でご覧ください。

No.	事業名	補助金交付決定額(円)	総事業費(円)	補助金確定額(円)	事業内容	実施場所	実施期間	参加者等数(人)	事業の効果(企画提案団体の自己評価)	今後の課題(企画提案団体の自己評価)
1	2006第23回日向ひよっとこ夏祭り	4,400,000	10,125,768	4,400,000	ひよっとこ夏祭りパレード、前夜祭、踊り普及事業、講習・交流会ほか	市役所前広場・中心市街地ほか	8/4~8/5ほか	59,100	地域活性化、経済効果、人材育成、文化の発展、情報発信	増加する参加連・観客の安全確保、進化する祭りづくり、市民全体でつくるおもてなしの雰囲気、普及活動の拡大
2	第20回日向木挽唄全国大会	800,000	4,779,647	800,000	予選大会、決勝大会、歴代総合優勝者特別出演、特産品販売	文化交流センター/中央公民館	6/10~11	2,000	宿泊等の経済効果、観光・特産品等の宣伝効果、情報発信	スタッフの高年齢化による負担の増加、運営資金面、優勝者についての大会規定の見直し
3	耳川フェスティバル	1,000,000	3,208,440	1,000,000	美々津・幸福さるく紀行、耳川フェスタ(耳川大花火大会含む)ほか	耳川河口周辺ほか	8/16ほか	4,200	地域振興・活性化、こども育成ほか	「地域上げてみんなでやっつけよう」という盛り上がりで結果において今一歩の感
4	ボランティアのまちづくり事業	2,300,000	3,066,881	2,177,000	情報誌発行、ボランティア登録・斡旋、ボランティア団体支援ほか	市総合福祉センターほか	通年事業	4,022	地域の活性化、ボランティア意識向上、福祉の意識付け、関連団体との協働ほか	イベントのPR拡大、イベントの日程再考
5	ふれあいのまちづくり事業	3,900,000	6,475,952	3,187,000	見守りボランティア、ふれあいいいきサロン、福祉総合相談窓口	市総合福祉センターほか	通年事業	11,833	住民による地域福祉の展開、活動拠点の提供、仲間・生きがい・地域づくりほか	「民生委員の活動」との誤解の解消、地域に根ざした活動への推進、各事業の連携性の強化ほか
6	「願いが叶うクルスの海」移動写真展	500,000	1,116,649	200,000	フォトコンテストin日向岬、移動写真展	日向岬一帯、市役所、新宿みやざき館KONNEほか	7/1~9/15、10/13~3/16	15,000	新観光名所「願いが叶うクルスの海」を県内外に広くPR	効果的かつ持続的なPR
7	日向市文化連盟創立50周年記念事業 平成18年度県芸術祭	1,000,000	6,537,000	735,000	記念誌発行、総合美術展、記念講演会、東郷地区移動美術展ほか	文化交流センター、中央公民館、東郷町文化センターほか	11/3ほか	5,340	未来への記録、作家の将来への寄与、会員の交流、技能の向上ほか	集客力(広大な生活地域をカバー)、高齢参加者への対応、開催会場の再考、輸送・交通面
8	日向現代彫刻展シンポジウム2006	3,000,000	5,771,298	2,911,000	公開制作(シンポジウム)、フォーラム、ふれあい彫刻教室	日知屋新開公園、文化交流センター	9/21~10/11	300	実行委員の意識改革、報道機関を通じた情報発信	実行委員の増員、準備期間の延長、PR徹底、他団体との協議
9	第5回ラジコン航空ショーin日向	400,000	982,480	400,000	スーパーウイングス編隊デモ飛行、自家用ヘリコプター展示ほか	細島工業港	10/28~29	1,800	有名フライヤー参加による来場者数の増加、本市イメージの定着	広報の改善
10	日向ひよっとこマラソンIN日向岬	2,000,000	6,487,002	2,000,000	ハーフマラソン、2km、5kmロードレース	お倉ヶ浜総合公園~堀一方~日向岬~細島~白浜	3/11	17,004	参加者の健康促進、県内外からの参加者・観客による観光PR	規模拡大に伴う予算・スタッフ確保、事務局設置、専任職員雇用予算、収入源確保
11	平成18年度日向十五夜祭り	2,000,000	4,092,995	2,000,000	十五夜総踊り、花屋台、見立て細工展示、演芸披露ほか	中心市街地	9/9~10	48,000	市の活性化及びまちづくりに対する意識高揚促進、中心市街地商店街PRほか	県北地域以外からの集客、地域性・特殊性の創出、経費見直しと自主財源確保
12	欽ちゃん球団ゴールデンゴールズ日向キャンプ受入事業	2,500,000	6,130,084	2,500,000	1次キャンプ(飲トレ、交流戦ほか)、2次キャンプ(トークショーほか)	お倉ヶ浜総合公園野球場、延岡市立緑ヶ丘小学校ほか	1/8~13、3/27~29	16,800	在京キー局の報道による球団及び日向市の全国への情報発信	早い時期からの監督等とのスケジュール調整、自己資金の確保
13	第18回日向はまぐり碁石まつり事業	6,000,000	8,793,521	5,952,000	前夜祭、囲碁大会、展示即売会、市内観光めぐりほか	文化交流センター、中央公民館ホテルベルフォート日向	10/21~22	418	宿泊等の経済効果、日向はまぐり碁石、榎基盤使用によるPR効果ほか	参加者数増加に向けての取組み、マンネリ化打開、地産産業発展につなげるための施策
14	第3回ひらいわあかりアート展・音楽祭	300,000	733,663	300,000	灯籠コンテスト・展示、芸能文化ステージ、和太鼓コンサート	平岩地藏尊、日向サンパーク温泉	7/29~30	1,225	環境保全への関心の向上、世代間交流、地域間交流と創造ほか	事業資金調達、実行委員会再編成、開催場所再検討
15	高齢者クラブ会員創作作品展	130,000	216,223	130,000	高齢者クラブ会員による創作作品展	文化交流センター	12/8~10	511	豊かな長寿社会の推進、来年度展示会に向けての意欲づけ	参加者数増加に向けての取組み、若手会員加入促進
16	地域で育てよう!日向っ子☆街がみんなの交流起点	400,000	800,832	400,000	オセロ大会、「まちなかハロウィン」参加、風船アートのジローちゃん	まちかど交流クラブ「きてん」、日向市駅前	7/1~8/7、10/28	182	団体の認知度の向上、協力商店街の宣伝効果、市民主導型イベントの構築への貢献ほか	活動スペース確保、予算面
17	わんぱく相撲 日向場所	200,000	429,025	200,000	日向場所開催、全国大会派遣	体育センター、東京・両国国技館	6/25	76	相撲を通じた礼儀等の体得、全国大会という強豪が集う大会への参加ほか	他団体との協力による大会の盛り上げ、大会の知名度向上、より多くの小学生の参加
18	第3回技能まつり	300,000	975,527	300,000	技能士実技公開、作品展即売、こども技能体験コーナーほか	日向地区中小企業技能センター	11/19	1,600	来場者へのアプローチ(認知・理解・関心)、各団体同士の親睦	開催時期検討、荒天時対策、内容検討(マンネリ化の防止)
19	耳川杉有効利用によるイメージアップと町並景観アップ作戦	200,000	-	0	※平成18年12月4日事業中止申請に基づき、同年12月7日事業中止承認					
20	花いっぱい 夢街道 日知屋地区市民植栽	100,000	300,000	100,000	花植栽、環境美化イベント	県道細島線街路樹/周辺市道	11/26、12/2	175	地域活性化、世代間交流、環境保全への関心の向上ほか	植栽場所選定、参加人数確保
21	映画「武士の一分」先行上映会	200,000	1,691,353	200,000	映画「武士の一分」上映会、山田洋次監督、檀れい舞台挨拶	文化交流センター	11/23	1,137	情報発信、「本市で山田洋次監督作品がいち早く観られる」という認識の浸透	継続的な上映会開催、山田監督への大使的役割就任要請のアプローチ
22	細島みなと祭り	300,000	2,988,387	300,000	御輿、太鼓台、海上渡御等伝統行事、地域住民主催各種催物	細島港周辺	7/21~7/23	15,500	地域文化の再認識、地域活性化、観光面における情報発信	日中と雨天時の対策、寄附減少等に伴う財政問題解決
23	七夕まつり(子育て支援・商店街活性化事業)	100,000	260,000	100,000	七夕飾り展示、イベント開催	上町商店街10街区/パティオ駐車場	6/24~7/7	1,000	店舗のPR効果、商店街活性化	梅雨時期という天候面の問題、全天候型の開催場所模索、イベント開始時間、関係者の更なる意識の共有ほか
24	第3回日向アートフェスティバル	100,000	353,188	100,000	絵画、写真、書、陶芸作品制作	東郷町牧水公園	3/18	248	作品を通じ、日向市の持つ風景美を内外に発信	参加者増加に向けた取組み、会員自身による広報活動
25	美々津の町並み重要伝統的建造物群保存20周年記念事業	100,000	241,766	100,000	パンコ談議、囲碁大会	中町(回船問屋)通り、新立縫公民館	9/2、11/3	230	地域住民の元気促進、自分たちのまちの「ほこり」と「自覚」の再確認	補助金なしでの地域づくり
計	25事業	32,230,000	76,557,681	30,492,000				146,601		

# 事業実績を公表します

## 平成18年度 日向市市民まちづくり支援事業

市民が知恵を出し合い、地域の特色を生かした事業を自ら企画・運営・実施することを通じて、人の輪・地域の和を育み、元気で活力ある「協働のまちづくり」を推進することを目的として、平成18年4月に創設された提案公募型の「市民まちづくり支援事業」。

3月31日までに、採択された25事業の内、24事業(1事業は中止)が完了しました。事業創設1年目の効果と課題を検証し、事業実績を公表します。

昨年5月、支援事業に対して35団体から38事業の企画提案が寄せられました。その内の半分にあたる19事業は新規事業で占められ、この事業に対する市民の期待の高さが感じられました。

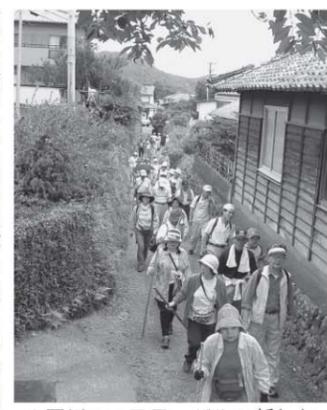
23回目の開催となった日向ひよっとこ夏祭りでは「ひよっとこ踊り個人戦」を、第6回耳川フェスティバルでは「美々津・幸福さるく紀行」を実施するなど、マンネリ化打開のための新しい企画を取り入れる努力が、新規事業については「願いが叶うクルスの海」写真展など、熱意やチャレンジ性が感じられる新たな取り組みも見られたと伺います。

### 審査の公平性と透明性

事業の選定と補助金の査定は、審査要

しかしながら、事業実績額は、採択事業の当初総事業費811万8千円に対して、911万7千円減の720万7千円という結果となりました。これは、当初計画どおりに事業が実施できなかったことが大きな要因であり、計画に無理のあった事業も散見されたところです。計画どおりに実施できなかった事業に対しては、補助率に応じて補助額を確定し、合計173万8千円を減額しました。

また、事業実績の評価についても、客観性の高い第三者による評価の実現に向けて検討する必要があります。



▲耳川フェスティバルの新たな挑戦、「美々津・幸福さるく紀行」



▲日向ひよっとこマラソンIN日向岬は、ひよっとこの部の新設、親子ペアの見直しなどにより、過去最高の1,500人を超える参加がありました。

事業2年目の今年度、制度の見直しにより「地域づくり系事業」枠を新設したこと、所期の目的である「元気で活力ある協働のまちづくりの推進」に即した、防犯、美化活動といった地域コミュニティの醸成につながる事業が見られるようになってきました。

今後とも、新総合計画及び新補助金制度との整合を図りながら、市民にとってよりよい制度となるように改善を重ね、「市民との協働」推進のひとつのツールとして事業を推進していきます。

### よりよい制度を目指して

# 地域づくり系事業に期待

## 平成19年度上半期 日向市市民まちづくり支援事業

元気で活力ある「協働のまちづくり」を推進することを目的として創設された「日向市市民まちづくり支援事業」の平成19年度上半期分の採択団体及び補助額が決定しました。新制度創設2年目の今年、これまでになかった新たな取り組みが見られるようになりました。期待される主な採択事業を紹介します。

募集を上半期と下半期の2回に分けた今年度、1月から上半期募集を開始し、地域づくり系事業部門に7事業、イベント系及びその他の事業部門に15事業の応募がありました。2回にわたる厳正な審査の結果、合わせて19事業補助額121万7千4百円を採択しました。

今回の特徴は、イベント系以外の地域コミュニティの活性化を目的とした事業が目立ってきたということです。新たに「地域づくり系事業」公募枠を設け、補助率も4分の3以内(補助上限額50万円)とし、取り組みやすくなりました。大きな要因であると思われま

### まちなかに賑わいを!!

中心市街地の再生と活性化を願って造られ、昨年12月の新日向市駅開業に合わせてデビューした『日向(ひむか)曳山』を、新町地区で開催される十五夜祭りや産業・商業まつりなどに繰り出し、イベントの活性化や集客力の向上につなげようと企画提案された『まちなかにぎわいプラス1(ワン)計画』。長年、中心市街地活性化に関わってきた上町商店街振興組合(理事長 本多幸夫さん)の新たなチャレンジに期待したいと思います。

### 防犯活動の広がり期待

昨今の世相を反映し、今回2つの防犯事業の提案があり、両事業とも採択されました。

財光寺地区防犯連絡協議会(会長 二見順雄さん)は、児童・高齢者の安全確保と地域住民の防犯意識の高揚を目的として『犯罪防止の腕章着用運動』を展開。地区区長公民館長連合会が中心となり、区内小中学校、PTA、少年指導員、民生児童委員など地区民あげて取り組む防犯活動です。

子どもを守る会(会長 内山雅仁さん)は、多発している子どもへの犯罪撲滅をメインテーマとした、パトロール、看板等設置などの防

犯啓発活動を実施。子どもに自分で犯罪を防ぐ能力と方法を教えていくことを使命としています。

### 旧岩脇中学校施設を利用

総合型地域スポーツクラブ『ひむかYOUゆうクラブ』(会長 児玉嘉嗣さん)は、旧岩脇中学校の施設等を利用して、ミニテニス、バドミントン、健康空手などの教室やサークルのほか、グラウンド・ゴルフ大会、ミニバレー大会等を開催する、今年4月に設立された市民活動団体です。

スポーツ文化活動を通して、心身ともに健康で生きがいのある豊かな生活の実現と地域コミュニティの推進を図ることを目的としています。このクラブには、平岩地区民だけでなく、小学生以上であれば、地区外、市外の方も加入できます。

2年目を迎えた市民まちづくり支援事業も、市民の皆さんに理解され、徐々に浸透してきている状況です。

6月から今年度下半期の募集を開始しました。市民の皆さんからの新たなチャレンジをお待ちしています。



▲総合型地域スポーツクラブ『ひむかYOUゆうクラブ』のメニューのひとつ「健康体操教室」

### 決定までの経緯

- 1月23日 募集開始
- 2月28日 応募締め切り
- 3月25日 第1回審査会
  - ◆公開ヒアリング
  - ◆公開プレゼンテーション
  - ◆書類審査
 審査委員 12名が審査にあたり、書類審査項目、プレゼンテーション審査項目について、5段階により各提案事業の評価を行いました。
- 4月26日 第2回審査会
  - ◆査定及び団体選定
 審査会審査要領に基づき、審査得点及び順位等をもとに総合的に査定を行いました。
- 4月27日 審査結果を市長に報告
- 5月2日 採択団体及び補助額決定
 

審査会からの報告を受けて、市が正式に採択事業を決定しました。決定に際しては、審査会での査定及び選定結果を最大限尊重しました。

同日、提案団体に対して採択(不採択)通知をしました。

☆事業の詳細は、市ホームページ  
<http://www.city.hyuga.miyazaki.jp>  
 でご覧ください。



▶『子どもを守る会』が幼稚園等に設置している「よいこのやくそく!」

# 平成19年度上半期 日向市市民まちづくり支援事業採択(不採択)事業一覧

部門	No.	団体名	事業名	区分	総事業費	補助金申請額	採否	採択額	実施予定日	参加人数等(予定)
地域づくり系事業	1	特定非営利活動法人 こども遊センター	地域で育てよう！日向っ子☆街がみんなの交流起点	既存	700,000	500,000	採択	318,000	4月28日, 9月, 12月	700
	2	上町商店街振興組合	まちなかにぎわいプラス1(ワン)計画	新規	402,000	300,000	採択	176,000	6月1日～3月15日(内6日)	81,240
	3	日向市財光寺地区防犯連絡協議会	財光寺地区の犯罪防止の腕章着用運動	新規	350,000	260,000	採択	213,000	4月～3月(通年)	900
	4	堀一方壮年会	日豊海岸(伊勢ヶ浜・大御神社下・鶴戸ノ瀬等)の環境美化活動	新規	210,000	200,000	採択	104,000	4月～9月	1,600
	5	日知屋中央商店会	第2回花いっぱい 夢街道 日知屋地区市民植栽	既存	450,000	330,000	採択	101,000	9月下旬	300
	6	こどもを守る会	こどもを守る会 防犯・啓発事業	新規	624,500	468,000	採択	126,000	4月～3月(通年)	1,300
	7	永江区	永江区盆踊り継承事業	新規	182,000	132,000	不採択	0	5月～3月(通年)	1,600
計		7 事業	新規5	2,918,500	2,190,000	採択6	1,038,000		87,640	
イベント系及びその他の事業	1	2007第24回日向ひよっこと夏祭り実行委員会	2007第24回日向ひよっこと夏祭り	既存	9,080,000	4,400,000	採択	4,316,000	8月3～4日	51,000
	2	日向市南部振興会	耳川フェスタ	既存	3,391,000	1,500,000	採択	993,000	5月, 7月, 8月16日ほか	4,200
	3	日向十五夜祭り奉賛会	平成19年度日向十五夜祭り	既存	4,200,000	2,000,000	採択	1,806,000	9月22～23日	20,080
	4	ひむかYOUゆうクラブ	総合型地域スポーツクラブ	新規	2,000,000	943,000	採択	724,000	4月～3月(通年)	7,200
	5	宮崎県民謡会日向支部 日向木挽唄全国大会実行委員会	第21回日向木挽唄全国大会	既存	3,972,772	1,000,000	採択	720,000	6月9～10日	2,500
	5	細島みなと祭り奉賛会	細島みなと祭り	既存	3,075,963	500,000	採択	270,000	7月20～22日	9,000
	7	日向(ひむか)あかりアート展実行委員会	ひむか あかりアート展・宵祭り 2007	既存(拡大)	930,000	460,000	採択	319,000	7月中旬, 10月下旬	2,300
	8	日向かぼちゃ会	第20回記念 砂の造形大会	既存(拡大)	1,600,000	800,000	採択	457,000	5月20日	1,300
	9	つぼみ会	七夕まつり	既存	300,000	150,000	採択	100,000	6月29日～7月13日	1,000
	10	社団法人 日向青年会議所	第3回わんぱく相撲日向場所(全国大会予選会)	既存	529,000	260,000	採択	154,000	6月23日	440
	11	日向市盆踊り保存会連合会	日向神武お舟出祭	既存	7,200,000	3,000,000	採択	1,056,000	8月中旬	5,600
	12	耳川和舟友の会	耳川ルネッサンス	新規	2,666,000	1,250,000	不採択	0	5月～3月(通年)	3,460
	13	NPO法人 新生ひむか公社	食の安全と健康生活及び地産地消と環境保全との関連性の講演活動	新規	1,795,000	897,000	採択	121,000	6月～3月(内3日)	600
	14	フラワー サン	花とみどりの日向サンパーク2007春・秋	既存	432,000	202,000	採択	100,000	4月22日～5月6日 10月21日～11月4日	20,300
	15	社団法人 日向青年会議所	(社)日向青年会議所創立45周年記念・心ゆたかに生きる講演会	新規	380,000	190,000	不採択	0	9月15日	800
計		15 事業	新規4	41,551,735	17,552,000	採択13	11,136,000		129,780	
合計		22 事業	新規9	44,470,235	19,742,000	採択19	12,174,000		217,420	

# 時代が求める『協働』という新たな地方自治の形

# 協働

# へのアプローチ

21世紀に入り、時代は大きく変化しつつあり、本市においても市民のニーズが多様化・複雑化し、少子・高齢化が進む中、福祉、教育、環境、防災、財政など様々な分野での問題に直面しています。また、地方分権の進展により、独自に処理できる範囲も拡大してきており、特色あるまちづくりが求められています。

今後、これらの問題を解決するためには、行政の力だけによるのではなく、市民、ボランティア団体、NPO、企業などと行政とが良きパートナーとして連携し、それぞれの果たすべき責任と役割を自覚し、対等な立場で協力し、補完し合いながら、パートナーシップによる市民協働のまちづくりを進めていくことが必要となってきます。

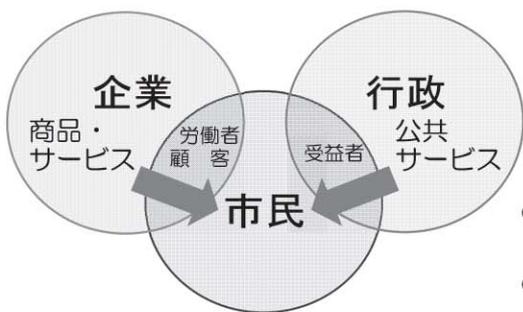
このような背景を受け、本市では、今後10年間のまちづくりの指針となる『新しい日向市総合計画』を策定しました。総合計画は、市民の皆さんと行政が協力して日向市という地域社会をつくっていくための重要な計画です。キャッチフレーズを『市

民が奏でる“交響”空間 優しく強く 温かい人とまち」とするこの計画は、日向市のまちづくりの進むべき方向と目標を明らかにし、市民の皆さんと行政が、それぞれの役割に応じて主体的にまちづくりを進めていくための「市民共有」の指針となるものです。行政だけでなく、市民、NPO、企業など、日向市という地域社会を構成するすべての主体が連携し、互いに「響きあい」高めあいながら『協働』により新しい日向市という空間を創っていくことを目指します。

協働によるまちづくりを推進するためには、これまでの公助中心であった行政主導による地域づくりから、「自助・共助・公助」がうまく融合された社会の仕組みを構築していかねばなりません。

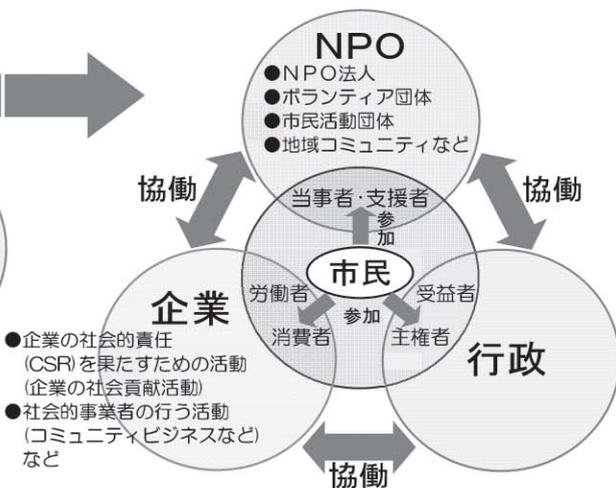
「地域のあり方は地域が決め、地域が担う」という視点のもと、市民は地域の主役となつて、まず、自立し、その上で、お互いに助け合い、社会に貢献することが求められます。

## 従来の社会構造



加藤哲夫氏（せんだい・みやぎNPOセンター）の作図を参考（一部加工）にして作成

## これからの社会構造



## 全国に広がる『協働』の波 ～市民と行政との取り組み～

全国的に広がりを見せる協働推進の動きですが、その進捗は地域によって異なるのが現状です。本市においても、市民協働課の創設や市民まちづくり支援事業などの市民協働推進事業が実施されていますが、他の自治体に目を向けると、本市の更なる協働推進の指標となる優れた事業も数多く見られます。

今回は、広島県福山市と群馬県太田市の先進事例について、それぞれの担当者の方に寄稿していただきました。

広島県福山市  
市民局市民部協働のまちづくり課  
渡邊 慎吾 さん  
マツチングファンド

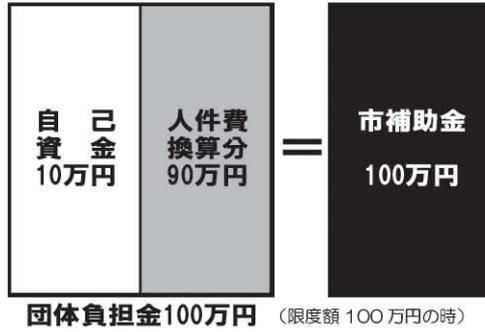
福山市では、「団体の持つ資源（人・モノ・カネ・情報）を有効に活用できるしくみとして、当市の魅力づくりを支援する事業『ふくやまの魅力づくり事業』の実施にあたり、団体会員が提供する労務（企画から実施まで）と同額を市が補助する『マツチングファンド』を取り入れています。このしくみにより、団体が少ない資金でも汗をかくことで、広域的な事業に取り組めるよう支援しています。具体的には、団体会員が何を何時間担当するかを記入・押印してもらい、事業終了後はどれだけ担ったかを報告してもらいます。昨年度は11団体中6団体、今年度は9団体中5団体が人件費換算を活用して取り組んでいます。この制

# 協働へのアプローチ



▶備陽史探訪の会/福山「古墳ロード」整備事業 団体と行政が協働により看板を作成し、会員が汗をかいて看板を設置しました。

## 〔マッチングファンドの仕組み〕



度は、アメリカ・シアトル市の取り組みを参考に、当市の特色にあったしくみであると思います。詳しくは、当市の「協働のまちづくり」のページをご覧ください。

<http://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/machi-dukur-i-suishin/kyoudou-machi-dukur-i/homepage/>

群馬県太田市  
地域振興部地域総務課  
参事 金田 正明 さん

### 1%まちづくり事業

太田市では平成18年度より、市税の1%相当(約3億円)を原資とした「1%まちづくり事業」を開始しました。この事業は、地域コミュニティを活性化させるため、「住民と行政が一緒になってまちづくりを行う」事業のことです。具体的には、地域の皆さんが事業を考えて実行し、行政が財政的な部分でお手伝いをしようとするものです。

また、この事業の円滑な運営を行うため市民による「1%まちづくり会議」を設置しました。この会議は、この事業の要綱作成から、提案された事業の採択・検証を市民自ら行っています。(会議委員に市職員は含まれていません。)18年度には、239件が提案され、106件が事業採択となっています。

採択された主な事業をご紹介します。

- ◇わが町高田公園ふれあい広場愛護事業
- ◇区民の手によるゴミステーションの整備事業
- ◇休泊中学校PTA落葉リサイクル事業
- ◇毛里田地区花いっぱい運動
- ◇米づくり体験事業
- ◇おたの市民教養大学

詳しくは、太田市ホームページ <http://www.city.ota.gunma.jp/> をご覧ください。



▲太田市「木崎地区の学校支援ボランティア」事業として、実施された事業です(今年度も継続中)。この事業は、木崎地区の婦人会、老人会など合計200名以上の方が、小学校の下校時に交代で毎日子どもたちの見守り活動を行っています。結果、この地区では下校時の交通事故や不審者情報などもなくなりました。

## 市民協働



**Q** 近頃、「協働」という言葉をよく耳にしますが、具体的な意味がわかりません。教えてください。

**A** 確かに最近、「協働」というフレーズが多くの方々に認知されるようになりました。ですが、その意味・内容はあまり知られていないのではないのでしょうか。

協働とは、社会的役割・機能の異なる2者以上の主体が、共通の社会的な目的を果たすために、それぞれの資源や特性を持ち寄り、相乗効果を上げながら協力して取り組むことをいいます。ここでいう「2者」とは、行政と市民に限ったものではなく、その相手は状況によって異なります。

## 市民活動支援PRコーナー

活用しませんか?  
**ひまわり基金事業**

**NPO法人設立支援事業**

「何か誰かの役に立つことがしたい。」「地域のコミュニティを再生したい。」などの思いで活動している団体等が新たに特定非営利活動団体(NPO法人)を設立する際、それらに要する経費の一部を助成する制度です。

1団体につき1回限りで、助成額は20万円が限度です。

**学習活動支援事業**

公益的な市民活動に取り組む市内の団体が実施する、まちづくり学習会や研修会に要する講師・指導者の謝金や交通費を、1件当たり10万円を限度として助成する制度です。

【要件等】

- 1 広く一般市民に公開される事業であること
- 2 市内で実施される事業であること
- 3 市から同様の助成・補助を受けていない事業であること
- 4 1団体につき、当該年度1回限りとします。
- 5 実施後の申請はできません。

詳しくは、日向市生活環境部市民協働課 (TEL52・2111 内線2853)へお問い合わせください。随時受け付けをしています。



人材育成グループ

# KOKUA ネットワーク協議会

所在地 日向市都町 10749 番地8  
日向市駅前リーフギャラリー内  
代表 寺尾 秀貴さん  
連絡先 TEL&FAX: 0982-54-3067  
E-mail: konet984@yahoo.co.jp

KOKUAネットワーク協議会、通称konet(コネット)は、ひとことでは、  
『まちづくりリーダー養成塾』です。ひまわり塾のOBが中心となって、まちづくりのリーダー養成のための行動を実際に行っていることと作ったクラブです。基本的に、市民参加型まちづくり運動の発信源になればと考えています。今年度から、『日向市ひまわり基金事業』の中の『市民活動団体リーダー養成事業』を、日向市ひまわり基金事業推進協議会と協働で実施していくことになりました。

初年度のテーマは、“日向市を知る”。体験型講座や視察研修等を取り入れながら、新しい日向市のリーダーを担う人材の養成を目指します。ご声援、よろしくお願いします。



駅前中心市街地で開催する「konetフリーマーケット」のひとコマ。毎回、多くの市民の方に参加していただいています。

☆あなたも『リーダー養成塾』に参加しませんか？☆ 年齢・職業などは問いません。  
一緒に「まちづくり」をやっていくことの楽しさを見つけてみましょう！ [問い合わせ] TEL:54-3067 (konet)

## 日向市市民まちづくり支援事業

# 下半期実施事業募集スタート!!

市民主体による元気で活力あるまちづくりを推進するため、市民の皆さんが知恵を出し合い、地域の特色を生かして自ら企画・運営するまちづくり事業の下半期分(平成19年10月~平成20年3月実施)を広く市民活動団体等から公募します。

市民まちづくり支援事業審査会で採択された事業に対して、補助金を交付します。

### ●応募できる団体

- (1)市内に活動拠点を有する非営利活動団体(NPO法人・市民活動団体・ボランティアグループ・自治会等)であること。
- (2)5人以上の会員で組織していること。
- (3)組織の運営に関する規約等があること。
- (4)宗教活動や政治活動を行う団体ではないこと。
- (5)暴力団の構成員が、団体の役員となっていないこと。

### ●募集事業の内容

- (1)市又は市内特定地域(以下「市・地域」という。)の活性化又はコミュニティの醸成につながる事業
- (2)市・地域の特色を活かした事業
- (3)市・地域のイメージアップや情報発信につながる事業

### ●事業の部門及び補助率、補助金交付上限額

- (1)地域づくり系事業(特定地域での環境美化、防犯、助け合い(共助)等コミュニティの活性化及び醸成につながる事業)  
補助率 3/4以内 限度額 50万円
- (2)イベント系及びその他の事業(全市対象の祭り、スポーツ大会、講演会、文化芸術の発表会、展覧会等のイベント)  
補助率 1/2以内 限度額 600万円

### ●提出書類

- ①事業企画提案書
- ②事業計画書
- ③事業収支予算書
- ④事業提案団体概要書
- ⑤団体の運営に関する規約等
- ⑥会員名簿
- ⑦前年度事業収支決算書(活動実績のある団体のみ)

### ●応募期限

平成19年7月31日(火)

### ●提出及び問い合わせ先

事業や募集に関して不明な点がありましたら、お気軽に市民協働課(☎52-2111 内線2853)までお問い合わせください。

また、市民まちづくり支援事業補助金交付要綱(様式含む)、同募集要項並びに同審査会審査要領の全文を市のホームページに掲載していますのでご覧ください。



日知屋中央商店会が実施している「花いっぱい夢街道 日知屋地区市民植栽」